

# 人生を導く神の知恵

ティモシー・ケラー

～三滝グリーンチャペル訳～

後 半

<7月1日～12月31日>

God's Wisdom for Navigating Life

Timothy Keller

With Kathy Keller

## 賢い子育て

シリーズ～神の知恵～

2019/10/13

# 子育ての教科書

- 箴言はそもそも子育ての教科書である
  - 「これは知恵と諭しをわきまえ／分別ある言葉を理解するため。未熟な者に熟慮を教え／若者に知識と慎重さを与えるため。」1:2,4
- 23箇所で「わが子よ」と呼びかけている
  - 「わが子よ、わたしの言葉に耳を傾けよ。わたしの言うことに耳を向けよ。」4:20
- 本当の親である神の思いを代弁している
  - 「かわいい息子を懲らしめる父のように／主は愛する者を懲らしめられる。」3:12



# 子どもは教育されなければならない

## ○子どもは「無垢」ではなく「無知」である

- 「子どもたちは生まれつき自己中心で、他の人たちがどのように感じるか理解することができず、自分たちの行動が他の人たちにどのような影響を及ぼすか知りません。」10/4

## ○親が正誤・善悪を教えなければならない

- 「父はわたしに教えて言った。『わたしの言葉をお前の心に保ち／わたしの戒めを守って、命を得よ。』」(4:3-4)
- 「もし両親が子どもを自分たちから切り離した独立国家のようにして育てるなら、それは子育ての医療過誤とでも言うべき過ちです。」9/29



# 体罰について

- 箴言は「鞭」をもって駭けるよう述べている
  - 「鞭を控えるものは自分の子を憎む者。子を愛する人は熱心に諭しを与える。」(13:24)
- しかし決して体罰を勧めているのではない
  - 「古代社会において鞭は文字通り罪人を罰する道具として使われていたので、一般的に権威や訓練の象徴とされていました。」10/2
- 鞭の教えを虐待の隠れ蓑にしてはならない
  - 「懲らしめを子育ての本質としてはならないし、体罰を駭の本質として頼りすぎではなりません」10/2
  - 「子どもを虐待する親たちは、箴言の鞭の教えの背後に隠れることはできない」ウォルトキー

# 子育ての3要素

## 言葉

- ・「鞭と叱責とは知恵を与える。わがままにさせた子は、母に恥を見させる。」29:15
- ・「言葉による論理的な叱責が常に伴わなければなりません」10/2

## 模範

- ・「善悪の判断ができるようになるのは、両親が間違いなく教えるからではなく、**正しく行う**からです。」

## 愛情

- ・「箴言は、両親に訓練と罰を用いるよう指導していますが、その背後には**子どもたちに分かるような愛と好意**が横たわっていないとなりません。」9/30

# 子どもの成長を決定づける3要素

若者を歩むべき道の初めに教育せよ。年老いてもそこからそれることがないであろう。(22:6)

本性

・ 生まれつき持っている性格

養育

・ 親の躾や取り扱い

選択

・ 子ども自らの選択

- 「これら三つは複雑に絡み合っており、神御自身だけが制御することが可能です。親ができる最終的で最も力強い方策は、子どもたちの心を開かせることのできる神に祈ることです。」10/6

# 子育ては親育て

- 子どもにおびえてはならない
  - 子どもたちは叱られると、自己憐憫と苦痛から、「僕のことを愛してない!」と衝動的に叫ぶでしょう
- 感情的にならない
  - 「子育ては親育てでもあります。愛ではなく怒りから罰してしまうことは簡単です。」
- 犠牲の愛を求められる
  - 「主よ、不完全な人間を愛するには犠牲を伴います。あなたは私たちが悔い改めさせ、救うために御自身が苦しみました。私たちが愛する人々に目を向けるとき、犠牲を払うことができる者として下さい。」10/3



# 子育て・家族の難しさ

「知恵ある子は父の喜び、愚かな子は母の嘆き。」(10:1)

## ○「父母を敬う」とは

- 愚かな親も、悪い親もいる。「従いなさい」「賞賛しなさい」とは言われていない。親の功績を認めること。10/7

## ○家族の喜びと悲しみ

- 「互いに結び付けている絆がなければ人生の痛みは減るが、計り知れないほど貧しくなる」10/8
- 「誰かを愛してしまおうと、その対象の幸せがあなたの幸せを支配してしまいます」10/10
- 「子どもたちへの心配が、思い煩いになるのではなく、祈りの動機付けとなりますように。」



# 肉の家族と神の家族

## ○血縁関係を偶像化しない

- 「聖書は繰り返し家族の大切さを語りながらも、それを偶像化しないよう語っています。兄弟よりも頼もしい友もいるし、同僚もいます。私たちにあって正真正銘の兄弟・姉妹・息子・娘はキリストにある信仰者たちです。」10/11

## ○神の家族

- 「人格と能力は、血縁と家族の絆にまさるということです。この原理は新約聖書においても働いています。すなわち、人種や社会的地位によらず、イエス・キリストへの信仰だけが、あなたを神の家族の相続者とするということにおいてです」10/9



# 霊の子ども

## ○祝福のしるし

- 「イエス・キリストは、生物的な子孫を残さなかったが、物理的ではない霊的な子孫が繁栄するよう教会を祝福された。」ウォルトキー

## ○霊の子どもを産み育てる

- 「C.S.ルイスの小説“天国と地獄の離婚”の登場人物サラ・スミスは、地上では子どもがいなかったが、天国では、彼女が霊的に育てた数え切れないほどの男性や女性に取り囲まれています。」
- 「あなたが持つことのできる霊的な子どもや孫の数は、物理的なそれよりもはるかに多いのです。」10/10



## 祈り

「主よ、私たちは放蕩息子や娘たちを知っています。彼らの愚かな行動は親たちの心をずたずたにしてしています。どうか彼らのための特別な解決の祈りを与えて下さい。その祈りが私たちと彼らのうちに働きますように。そして彼らが家に—私たちの家だけではなくあなたの家に—帰ってくることで、私たちに喜びを与え、あなたの栄光が顕されますように。アーメン。」10/14

